

生涯学習
つうしん

国見町教育委員会生涯学習課
(観月台文化センター)
☎(585)2676 FAX(585)2707
E-mail shogai@town.kunimi.fukushima.jp
https://www.town.kunimi.fukushima.jp/site/kangetsudai/

リュッケじかん
LYKKE 時間

第13話「節句のなぜ? を楽しむ」

日本には美しい四季があり、節句と呼ばれる節目があります。3月には桃の節句がありました。5月には菖蒲の節句を迎えます。鯉のぼりや五月人形を飾り、菖蒲湯につかる家庭もあるでしょう。ところで、このような風習はなぜ生まれたのでしょうか? もしかしたら由来を知らずに生活に取り入れている方もいるかもしれません。昔からの風習には、その由来を知ること、より身近に興味深く感じられるものが多くあります。風習や伝統行事は、「なぜ?」の宝庫です! これからやって来る5月の節句のなぜ? もお子さんと一緒に調べてみませんか? 兜は、なぜ飾るの?

文:柴田千賀子(国見町出身の保育研究者。仙台大学准教授)

観月台文化センター常設展示
石原コレクション
作品紹介 Vol.15

題名「静物」
作家 中村 清治
(なかむら せいじ)

紙・リトグラフ
315 × 355mm

ミニ四駆組立講座フリー走行会
みんなでタイムレースに挑戦



みんなで楽しくミニ四駆を走らせました

国見町公民館町民講座の第2回となるミニ四駆組立講座フリー走行会が2月24日、観月台文化センターホールで開かれ、親子30名が参加しました。フリー走行会では、株式会社タミヤの協力で、公式サーキットコースを借りて前回の講座で組立てたミニ四駆を走らせました。参加者同士でタイムレースに挑む姿は、真剣そのもので、少しでも早く走らせるために、ミニ四駆をチューンナップしたりしながら、『作る楽しさ』と『走らせて遊ぶ楽しさ』を知る講座となりました。



自分のミニ四駆の走りを確認



うまくスタートできるかな

国見つ子わんぱく広場
1年間の思い出をすごろくに



このマスは何かな

国見つ子わんぱく広場の「おもいですごろく」と閉所式が2月15日、国見小学校体育館で開かれました。「おもいですごろく」では保護者も参加して、体育館全体を使ったすごろくを体験しました。参加者は、今年度の活動を振り返りながら、各イベントマスのゲームを楽しみました。閉所式では、岡崎忠昭教育長のあいさつ後に、児童の代表から1年間の感想を発表してもらい、「次年度の活動にも参加したい」と期待する声などが聞かれました。



体育館全体が巨大なすごろくに!!

阿津賀志学級
健康で安全に楽しく活動



交通安全大学修了証を受取る学級生

阿津賀志学級の閉講式と交通安全大学修了式が2月28日に開かれ、72名の学級生が参加しました。閉講式では、学級生へ安藤充輝公民館長が全体学習参加の皆勤賞と精勤賞を手渡し、交通安全大学修了証を太田久雄町長が手渡しました。学級生は1年間の活動を振り返り、思い出話に花を咲かせていました。

成人学級
充実した1年間を振り返る



楽しく充実した活動でした

成人学級の閉講式が2月14日に開かれ、23名の学級生が参加しました。皆勤賞の表彰後に、学級生は文集「あしあと」で今年度の学習を振り返りながら、「楽しく、充実したものになった」と報告がありました。福島県社会教育委員の大友靖子氏から「地域で生きる〜元気なのはなし」と題して講演がありました。今までの豊かな経験の話で、笑いが随所にあり、学級生は楽しい時間を過ごしました。



ユーモアあふれる大友氏の講演

くにみ女性教室
イキイキと輝く女性へ



「くにみ女性教室の歌」を歌う教室生

くにみ女性教室の閉講式が2月26日に開かれ、教室生39名が参加しました。教室生は、20回の全体学習と3つのグループ学習を通じて、教室生同士の親睦を図るとともに楽しく意欲的に学習に取り組まれました。充実した時間を送った教室生からは、さらに次年度への学習意欲が感じられました。